

広報モニターの声

モニターのみなさんから寄せられた議会だより誌面や議会に対するご意見を参考に、より親しみやすい議会だより、また議会になるよう努力してまいります。

議会だより 151号（前号）誌面に対するご意見・ご感想

- 決算状況の推移は状況が俯瞰できてわかりやすい。できれば最低5年はほしいのと、大きな増減にはコメントがあるとより理解が深まると思います。
- 各議員さんの質問に関する写真が掲載されていると、視覚的にもわかりやすく理解しやすい。
- 10月に中学生議会を開催したとの事。今回は、その内容が載っていなかったのが残念でした。若者が村政に興味を持って、今どんな感覚で、どんなことを望んでいるのか。こちらにも興味があります。次回の掲載を楽しみにしています。
- 表紙の写真、VC長野トライデンツの公開練習を撮影、800枚とのこと。その中から1枚選ぶのも大変だったと思います。躍動感あふれた素晴らしい1枚でした。1枚のよい被写体と皆さんに訴えたい気持ちが良く写し出されていると思います。
- 7月豪雨災害の記事を読んで思い出したが、その日は月に1度の組長会だった。停電の中、スマホの明かりで例会を行った。実際のところの防災意識はこんなものなのかと不安になった。
- 6Pの依存・自主財源の説明はとても分かりやすくてよかったです。
- 図表や写真が豊富で、視覚的に情報が整理されていて議会活動の様子が伝わりやすく読みやすくてよかったです。
- 要望書の内容ですが、村民の声がしっかり反映されていて実際の課題と向き合っている姿勢が伝わってきました。
- 区への行政委託料の縮小について（村への要望）
現在、村が進めている区業務のシルバー人材センターへの委託移行と、それに伴う行政委託料の縮小について申し上げます。この施策は、本来意図された区および区民の負担軽減にはつながらず、むしろ区運営に深刻な支障をきたしているのが現状です。実際、ある区では行政委託料が半額近くまで削減された結果、不足分を補うために区費を引き上げざるを得なくなりました。その結果、財政的な負担が区民へ直接のしかかるという事態が生じています。コロナ禍を経て区の活動が本格的に再開される中、昨今の急激な物価高騰も重なり、区の財務状況は極めて逼迫しております。このような状況下での委託料の大幅削減は、区の存続そのものに関わる深刻な問題です。このままでは、村が目指す「区民の業務負担軽減を通じた活発なコミュニティ活動の推進」が実現できないばかりか、区費負担増による「区離れ」を招くという、本末転倒な結果になりかねません。つきましては、村におかれましては現状の厳しさを直視いただき、行政委託料の増額や制度の見直しを含めた、早急な改善策の検討を強く要望いたします。

議会に対するご意見

- 村内 12 地区で「村民の声を聴く会」の開催、本当にお疲れ様でした。掲載の写真を見る限り、各地区の参加者がほぼ役員に限られてしまっているのでは？議員の皆様が、手分けにしても、何度も時間を作ることも大変なことですし、できることから以前の様に村全体に呼びかけ、村民センターで開催してはと思います。その方が役員以外の村民、老いも若きも参加しやすいのでは・・・いろんな方面の声が聞けるかとも思います。
- 村民の声を聴く会ですが、参加者の声にもあったように貴重な意見交換の場なので今後も定期的に開催して欲しいと思います。
- 空調設備や水害対策など、教育・防災分野の取り組みが前向きで現場の課題に向き合っている姿勢はよいと思います。期待しています。
- 中学生議会のような取り組みは素晴らしいです。若者の意見をもっと議会に届ける更なる仕組みづくりに期待します。
- 憲法 9 条を守っていくため国への投げかけもして欲しいです。戦争を知らない世代に対しての学習会なども企画してほしいです。
- 村長懇談で、大芝にもスクールバスの運行をお願いしたいと母たちがお願いしましたが、検討しますとのお返事でしたが、1 年経っても何も動いていない実情です。
- 民生児童委員のなり手不足について、候補者が少ないと同時に任期 3 年は長いのか、個人情報が多いこともあり 1 年、2 年で信頼して話ができるか、一定の期間が必要であると思います。報酬についても交通費などを含め検討し、改善する時期にあると思います。
- いつからだったか村の公式 L I N E が変わり、良くなりました。公共施設予約も見やすく利用しやすくなりました。とてもうれしいです！
- 16 pにある「バイオマスボイラー視察」の件ですが、上伊那クリーンセンターが稼働しておりますが、その熱利用の運用について知りたいです。又、大芝の湯で取り入れるのなら木質チップだけで無く家庭から出る可燃ごみを使えないか、素人としては考えますがいかがですか。
- 9 p「SPS」の認証はとありますが、これは企業版の「ISO」の学校版ですか良いことですが自分も「ISO」の取得に会社で関わってきましたが並大抵の事ではありません。更に教師への負担を強いる事にならないかと懸念されます。慎重に検討された方がよいと思います。
- 15 p「都市計画マスタープラン」の件ですが、村の人口はどんどん増えていき耕作地が住宅地が変わってゆく現状において、村の適正な戸数・人口を知りたいです。それによって①～④まである目標をどう達成していくのか更なる研究検討をしていてもらいたいです。
- 9月定例会の一般質問において、農事組合法人「まっくんファーム」への持続可能な支援について議員から質問があり、村長からは人的支援などにも取り組んでいく旨の答弁がなされたことを拝見しました。私自身も小規模で耕作している農業者で

すが、高額な機械の導入は難しく、すでに一部の作業をファームに委託しています。年齢を重ねるにつれ、さらに委託を増やすことや、担い手農家に耕作をお願いすることを考える機会が多くなっております。また、同じような事情を抱え、今後の営農のあり方を模索している農業者は、私以外にも少なからずいるのではないかと思います。議員の皆様には、住民からの多様な要望に日々向き合っていることと思いますが、こうした課題についてもぜひ継続的にご対応いただければ幸いです。

○大芝の湯に導入される予定のバイオマスボイラーについての視察記事がありました。この中で、スペースの問題、トラブル時の重油ボイラーの併用という課題が指摘されているが、大芝の湯に導入された場合の問題はないかの検証はなされましたか？特に、広大なスペースを必要とする場合、大芝高原の景観を傷つけるような懸念は無いか？